

広報とうかい
人・自然・文化が響き合うまち

Tokai

October [No.776]

10・10

Bi-monthly Magazine
for The People of Tokai

2009年 [平成21年]

Contents [10月の主な話題]

- 東海村長選挙を終えて……………2

村上達也村長

4期目の村政をスタート

- 認知症になっても安心して暮らせるまちに……………4

認知症サポーター養成講座800

- 原子力安全フォーラム2009……………6

住民目線で考える

村と原子力との共生の在り方

- 東海村文化祭2009・第26回東海やったん祭……………6

- プラスチック製容器包装物の分別収集……………8

**☑マークの無いプラスチック製品は
可燃ごみへ**

- 地上デジタル放送説明会・受信相談会……………10

- いんふおめーしょん……………17

- わが家の子育て奮戦記……………20

[舟石川駅西] **境原久実子さん・将基くん・紘基くん**



東海村長選挙を終えて

村上達也村長 4期目の村政をスタート

任期満了に伴う東海村長選挙は、9月8日告示、9月13日に投票が行われ、即日開票の結果、村上達也氏が1万49票を獲得し、当選を果たしました。村上氏は、平成9年9月の村長選挙で初当選して以来、今回で4期目。任期は、平成25年9月20日までの4年間となります。

今回の選挙には、村上達也氏（66歳 石神内宿）|| 現職、坪井章次氏（60歳 石神外宿）|| 元茨城県職員 の2人が立候補し、5日間にわたる選挙戦を展開しました。投票は、9月13日午前7時から午後8時まで、村内14か所の投票所で行われ、同日午後9時から、総合体育館で開票作業が行われました。

当日の有権者数は2万8935人（男性：1万4536人、女性：1万4399人）。投票者数は1万9421人（男性：9548人、女性：9873人）、最終投票率は、67.12%（男性：65.69%、女性：68.57%）でした。

村上村長は、去る9月24日に初登庁し、4期目の村政をスタートさせました。

投票所別の投票状況

投票所	有権者数	投票者数	投票率
1 真崎コミュニティセンター	2,051人	1,158人	56.46%
2 村松コミュニティセンター	1,817人	1,127人	62.03%
3 中丸コミュニティセンター	2,186人	1,375人	62.90%
4 舟石川保育所	2,574人	1,336人	51.90%
5 外宿2区自治集会所	1,452人	876人	60.33%
6 石神コミュニティセンター	2,255人	1,312人	58.18%
7 亀下区自治集会所	1,021人	623人	61.02%
8 白方コミュニティセンター	3,061人	1,669人	54.52%
9 村松幼稚園	1,905人	1,006人	52.81%
10 東海村合同庁舎	3,222人	1,551人	48.14%
11 中央公民館	1,590人	943人	59.31%
12 舟石川コミュニティセンター	2,494人	1,389人	55.69%
13 南台区自治集会所	1,991人	1,163人	58.41%
14 営農生活改善センター	1,316人	723人	54.94%
期日前投票所	-	3,170人	-
計	28,935人	19,421人	67.12%



村長選挙の開票結果

村上達也氏 10,049票

坪井章次氏 9,281票

(得票順)

過去の村長選挙の投票率

年次	投票率
平成9年	57.40%
平成13年	無投票
平成17年	76.98%

いあいさつ

この度、村民の皆さまからの温かいご支援とご厚情を賜り、引き続き東海村政を担当させていただくことになりました。皆さまの熱い思いと期待がひしひしと感じられ、3期12年推進してきた村政が、その根本において、皆さまに信認されたのだと、とてもありがたいと思います。心から感謝申し上げます。

先に行われた衆議院議員総選挙・県知事選挙では、従来型の権力体制を維持し、経済成長路線を踏襲するのかそれとも権力体制を転換し、国民生活に視点を置いた社会政策重視型路線に転換するのかが争点でありました。その結果、「国民生活の重視を掲げた民主党と、それまでの『産業大県づくり』から『生活大県にチャレンジ』へ方向転換した現職・橋本知事が勝利する結果となり、国民も県民も、まさに『チェンジ』を成し遂げたと言ってもよいでしょう。

一方、東海村の村政はどうでしょう。私が3期12年間、絶えず訴え、実行してきたことは、村政の基軸を経済発展主義思想から転換、脱却し、村民の生活支援重視、東海村における「福祉国家」の建設に転換していくことでありました。村民を主人公・主役とする医療福祉・教育・

環境農業を重視する4本柱行政の推進がそれでありました。これはまさに、国や県がこれから取り組んでいこうとする政治の先取りであったと言ってもよいでしょう。

今回の村長選挙で、私が掲げた「初心貫徹」という言葉——村長に初当選した時の初心を忘れず、4期目でその初心を貫徹していくという趣旨であります。そのために、私がこれからの4年間で為すべきことは、マニフェストでお約束したとおりですが、基本的な点について少し触れさせていたいただきたいと思えます。

まず第1に、地方分権時代を生き抜くため、これまで推進してきた「住民本位の村政を確立すること」です。そのためには、自治基本条例の制定や地域自治組織の強化が必須であり、早期実現が必要で

第2に、村民が最も強く求めている、また地方行政の本来の役割と考える「4本柱行政をさらに深化させ、福祉教育・環境のまちづくりを推進していくこと」です。この分野は、国政の政権交代による政策の見直しによって、流動的な状況が生まれる可能性があるため、村内の現状を直視し、機敏に対応していくことが肝心と考えております。

次に、地域経済の大本である「農業・中小企業政策」にさらに力を注ぎ、各々の振興・再生を期していく

こと」です。今後は、これまで以上に農業・中小企業諸団体と連携を強めていくための新たなプロジェクトを考えていきたいと思えます。

そして最後に、東海村にとって重要かつ大きな課題である原子力政策についてですが、私は「短期的・即物的ではなく、地域社会の視点・長期的な視点からの原子力政策」を訴えてまいりました。村の安全と将来を見据えた政策を展開していきたいと思えます。

また、これら各公約の完遂を目指すのはもちろん、同時に、現在策定中の第5次総合計画（平成23年度スタート）についても、私の4期目の最重要課題の一つと認識しております。この計画は、今後10年間の東海村の道筋を決定付け

るものでもあり、将来に発展的につながる形で、それぞれの政策を盛り込んでいきたいと考え、村民の皆さまとともに策定に注力していきたいと思っております。

私は、この4期目を起承転結の「結の時」と位置付け、これまでの村政の集大成として、住民の生活支援に着眼点を置いた村政の完成を期していきたいと決意しているところであり、12年前の初心を忘れず、「住民本位」「住民が主人公」「住民自治」の村政を貫き通し、わが東海村が自主・自立の強靱な自治体となるよう念じ、努力してまいります。今後とも村民の皆さまには村政発展のために積極的なご協力をお願いし、4期目就任のあいさつといたします。

起承転結の「結」の時 村民の視点に立って村政の完成を目指します



認知症の方を温かく見守る応援者になろう！

「認知症サポーター養成講座800」

認知症になっても安心して暮らせるまちに

認知症サポーター養成講座は、昨年度開催された「第9回介護保険推進全国サミットinとうかいむら」のサブイベントとして実施され、61人のサポーターが誕生しています。

認知症については、以前は人間としての尊厳を欠く表現である「痴呆」という呼び方をされておりました。そのため、認知症の本人はもちろん、病気についての正しい理解が広がっていきませんでした。そのため、認知症の本人はもちろん、家族の方も大変つらい思いを抱えているケースが多くあります。介護サミットにおいても、テーマの一つとして「認知症のケアはこれでいいのか？」

「早期発見・早期対応に向けて」と掲げ、これまでには偏見等があった認知症のケアについて、今後どのように認知症の方の尊厳を守り、支援していくか協議しました。また、今後の認知症ケアの重要なポイントとして、当事者や家族、専門職に加え、地域住民・地域社会の協働ということ

が挙げられました。

最近では認知症についての研究も進み、誰もが認知症になる可能性があることが明らかになってきました。またその一方で、認知症の方の気持ちや接し方についても、いろいろと分かってきており、認知症の方が地域で暮らせるよう、各地でさまざまな取り組みが始まっています。

村でも、一人でも多くの方々に認知症について正しく理解していただき、地域で認知症の方々を支えられるよう、認知症施策の一環として、このたび「認知症サポーター養成講座800」を開催します。認知症サポーター認定所も含め、サポーターの輪が広がり、認知症になっても誰もが安心して暮らせるまちを目指していきます。

なお、当日はサポーター養成講座に加え、講師の山口晴保さんと村内の福祉関係者などによるシンポジウムも開催する予定です。





山口晴保(やまぐち・はるやす) 群馬大学 医学部保健学科教授。 医師となり認知症の研究を始めて30年。

脳を顕微鏡で調べる病理学、症状を診る神経内科学、生活を診るリハビリテーション医学を学んできた。認知症の人と介護者が笑顔になる医療、リハビリ・ケアを目指している。現在、日本認知症学会理事、ぐんま認知症アカデミー代表幹事を務めている。

※受講を希望する方は、東海村地域包括支援センター(なごみ・総合支援センター内)へ電話(☎287局2516 土・日曜日、祝日を除く)またはフアクシミリ(282局3538)、電子メール(kaigofukushi@vil.tokai.ibaraki.jp)で申し込みください。その際、氏名・住所・電話番号をお伝えください。



期 日 11月14日(土)
時 間 午後1時〜3時
場 所 東海文化センター
対 象 村内在住・在勤・在学の方
定 員 先着800人
締 切 日 10月23日(金)
講 師 山口晴保さん
受 講 料 無料

「認知症」ってどんな病気?

「認知症」は、脳の障害によって起こる病気です。早期に発見して正しく治療すれば、症状が改善したり、治ったりすることもあります。

誰にでも起こり得る脳の病気で、85歳以上で4人に1人は認知症の症状があるといわれています。さらに、今後20年でその数も倍増すると予想されています。

「物忘れ」と「認知症」の違いとは?

年を取ると、誰にでも物忘れや勘違いは起こるものです。一方、認知症は脳の障害による病的な物忘れです。両者の現れ方は違います。

例えば、食事についての記憶では…

▼老化による「物忘れ」

食事をしたことは覚えていますが、何を食べたか思い出せません。

▼脳の障害による病的な物忘れ「認知症」

食事したこと、そのものを忘れてしまいます。

「認知症サポーター」とは?

「認知症サポーター」とは、認知症サポーター養成講座を受講した方のことで、認知症の方の「応援者(サポーター)です。これは、認知症サポーターに特別に何かをやってもらおうというものではなく、認知症を正しく理解してもらい、認知症の方やその家族を温かく見守る応援者になってもらおうというものです。

友人や家族にその知識を伝える、認知症になった人やその家族の気持ちを理解するよう努める、隣人あるいはお店・交通機関等、地域で働く人としてできる範囲で手助けをするなど、自分のできる範囲で活動できればいいのです。

認知症サポーターには目印として、「オレンジリング(ブレスレット)」を付けてもらいます。この「オレンジリング」が地域連携の「印」になります。

認知症サポーターの数は全国で100万人を超えています。



「認知症サポーター認定所」とは?

「認知症の方に優しいまちづくり」に賛同している事業所・店舗のことです。

今回の認知症サポーター養成講座に参加した事業所・店舗には「認定所ステッカー」を交付し、「認知症サポーター認定所」として登録させていただきます。特別なことをお願いするのではなく、事業所や店舗で認知症の方が困っていたら、優しく言葉を掛けたり、手を貸したりして、認知症の方が安心して利用できる環境をつくっていただきたいのです。

この認定所ステッカーを張っているお店や金融機関、事業所が増え、認知症になっても安心して暮らせるまちづくりを目指します。



原子力安全 フォーラム2009

JCO臨界事故から10年… 原子力について考えてみませんか？

1999年9月30日に発生したJCO臨界事故から今年で10年を迎えました。事故の教訓を踏まえて整備してきた原子力安全規制や防災体制などの取り組みが、住民の皆さんに理解され、安心につながっているかを住民の目線から問い直すとともに、村と原子力との共生の在り方や、住民・事業者・行政の役割を考えるフォーラムを開催します。

11月7日(土)開催

【第1部】 ワークショップ ※事前申し込み制

- 時間 午前9時30分～11時30分(午前9時受付開始)
- 場所 中央公民館
- 内容 テーマ「私たちの採点～原子力安全・安心は実感できるか～(仮)」司会進行：金盛正至さん(日本原子力研究開発機構原子力緊急時支援・研修センター長)、土屋智子さん(HSEリスクシークラブ副代表理事)

【第2部】 フォーラム(講演・パネルディスカッション)

- 時間 午後1時～4時40分(正午開場)
- 場所 東海文化センター
- 内容 演題「今後の原子力利用のあり方について(仮)」講師：近藤駿介さん(内閣府原子力委員会委員長) パネルディスカッション①「JCO臨界事故から10年 教訓は生かされたのか」コーディネーター：岡本孝司さん(東京

大学大学院教授) パネリスト：金盛正至さん、土屋智子さん、木村雅人さん(茨城新聞社常務取締役)、経済産業省原子力安全保安院、小野寺節雄さん(村経済課長)
②「原子力とともに 今後の東海村は」コーディネーター：渋谷敦司さん(茨城大学地域総合研究所長・教授) パネリスト：坪洋右さん・照沼勝浩さん(住民代表)、横溝英明さん(日本原子力研究開発機構理事・東海研究開発センター長)、越塚ゆかりさん(村教育委員長)、村上達也・村長

ワークショップ参加者募集

第1部のワークショップで、現在の原子力安全対策や防災体制を「採点」していただける方を募集します(先着順)。希望する方は10月14日(水)から受け付けを開始しますので、(財)日本原子力文化振興財団へ申し込みください。なお、傍聴も可能ですので、希望される方は事前に申し込みください。

【問い合わせ】(財)日本原子力文化振興財団(☎03-6891-1572)、経済環境部原子力対策課(☎282-1711 内線1519)

東海村文化祭2009 10月29日(木)～11月1日(日)

東海文化センター		総合体育館	
29日(木)	小中学校音楽会	30日(金)～	文化協会・文化団体等の展示
30日(金)	バイオリン合奏と合唱、ジャズコンサート	31日(土)	お話し会、子ども体験広場「ねん土であそぼう」
31日(土)	音楽コンサート、カラオケ、ダンス、芸能	31日(土)～	茶会、バザー、そば・お弁当・切手等の販売
1日(日)	舞踊、大正琴、芸能、尺八、謡曲と仕舞	1日(日)	紙芝居、弓道・太極拳、和太鼓、ダンス
中央公民館		村松コミュニティセンター	
31日(土)	外国人の日本語スピーチ	31日(土)	ダンスの夕べ
31日(土)～	鉄道模型運転	※31日(土)・1日(日)は会場と各コミュニティセンターを結ぶ無料巡回バスを運行しますのでご利用ください。	
1日(日)	囲碁大会、将棋大会		

■問い合わせ 東海村文化祭実行委員会事務局(東海文化センター内 ☎282-8511 ※10月30日(金)～11月1日(日)は ☎090-8642-3901) ※詳細は10月下旬に各世帯に配布するパンフレットをご覧ください。

第26回東海やったん祭 11月1日(日)

■時間 午前10時～午後3時 ■場所 東海南中学校(グラウンド・体育館)

チャレンジ広場	バザール広場
大縄や巨大迷路など中学生ボランティアスタッフ・高校生会・青少年関係団体による趣向を凝らした手作りゲームが楽しめます。ミュージカルの公演も行います。	青少年関係団体の手作りの赤飯やうどん、フランクフルト、ワッフルなどを販売する模擬店が並びます。友情的船中学生リーダーによる出店もあります。

■問い合わせ 東海やったん祭実行委員会事務局(青少年センター内 ☎282-7049)



みんなで止めよう温暖化

チーム・マイナス6%

エコライフのすすめ

Chapter.9

10月は、「3R推進月間」です。「3R」とは①リデュース(減らす)②リユース(再使用)③リサイクル(再生利用)の頭文字を取ったもの。これはもともと、「再生資源利用促進法(平成3年制定)」が施行された10月を「リサイクル推進月間」としたことから始まりました。しかし、循環型社会構築のためには、従来のリサイクルに加え、リデュース、リユースの推進も重要な要素であることから、平成14年度からは、名称を「3R推進月間」に改め、3R活動の推進について、さまざまな取り組みをしています。

3Rには、ごみの減量や資源の有効活用に必要なことが、たくさん詰まっています。皆さんは「必要以上」のものを買っていませんか? 「そのごみは、他に使い道がありませんか?」「資源物の分別はできていますか?」など——この機会に、日常生活での心掛けを、もう一度見直してみたいかがでしょうか。

◆問い合わせ 経済環境部環境政策課環境計画推進室 ☎ 282 局 1711 内線1453

▶ 10月は「3R推進月間」です!

リデュース(Reduce) = 減らす

ごみを減らすために一番大事なことは、まず「ごみを出さないこと」です。



- 必要以上の量は買わない
“他のもので代用できないか” “本当に買う必要があるのか” をもう一度考えて、計画的に必要な分だけ買いましょう。
- レジ袋・過剰包装を断る
商品のラッピングや本のカバー等、過剰な包装はできるだけ断りましょう。
- 使い捨て製品の使い分けを
便利な使い捨て製品は、最後には必ずごみとなります。紙コップや紙皿、紙おむつ等、使う場所や目的等に応じて使い分けましょう。

リユース(Reuse) = 再使用

要らなくなったものでも、“何かに使えないか”考えてみましょう。自分では、要らなくなったものでも、他に必要としている人がいることもあります。リユースは、一番コストの掛からないリサイクルなのです。



- 別な用途を考えよう
意外と知らない別な使い道が身近に結構あるものです。例えば▼奥行があり、きれいに洗うことの難しいビンやグラス。この中に細かく砕いた卵の殻と水、洗剤を入れてシェイクすれば、指の届かないような隅々まできれいに洗うことができます。▼食品パック等に入っている乾燥剤を、タンスやクローゼットに入れておくと、嫌な臭いやカビを防いでくれます。
- 修理してもう一度使おう
壊れたイスやおもちゃでも、ちょっと手を加えれば直るものがあります。捨てる前に、もう一度考えてみましょう。

リサイクル(Recycle) = 再生利用

ごみを減らし(リデュース)、何度も再使用(リユース)した結果、どうしても残ってしまったものの最後の手段がリサイクルです。不用になったものを原材料に戻し、新しい製品を作るために再利用します。



- 生ごみはリサイクルしてエコたい肥
可燃ごみの中でも大きな割合を占めるのが「生ごみ」。エコクッキングやたい肥化などで、できる限り生ごみの減量とリサイクルに協力しましょう。
- リサイクルのマナーを守ろう
マナーを守らずに排出されたものは、品質が悪いため、せっかく資源として出されても、リサイクルされずに、そのまま捨てられてしまうことがあります。缶・瓶等は、異物を取り除き、きちんと分別しましょう。紙類は、付着しているテープやホチキスの芯等を取り除き、種類別に分別しましょう。出来上がる紙の質も良くなります。

ご協力をお願いします！

プラスチック製容器包装物の

分別

収集

マークの無い

プラスチック製品は

可燃ごみへ



資源物の分別収集や指定ごみ袋の導入などにより、昨年度は実に1062トンのごみの減量化が図られました(平成20年度回収ごみ量9963トン)。これも住民の皆さんの分別意識の向上、日々のご協力のおかげです。

しかしながら、まだ「プラスチック製容器包装物」の中に、異物が混入しているケースが多く見られるのも現状です。これらの異物は、選別時に作業員の手作業によって

取り除かれています。

対象のプラスチック製容器包装物は、マークの有無によって見分けることができますので、「資源物・ごみの出し方一覧表」を再度ご確認くださいの上、きちんと分別して出すようご協力をお願いします。

反対に、一般ごみステーションにおいては、資源物の混入が多く見られます。限りある資源を有効に利用するため、資源物の完全分別にご協力をお願いします。

●今までに混入されていた主なものと処理方法

混入物	正しい出し方
食品の残りが付着したままのプラスチック製容器包装物	水洗いまたはふき取りをしてから、市販の透明または半透明の袋へ入れて「資源物」として出す。
ガラス瓶	水洗いをして「資源物」として出す。 ※飲食用以外と油物のガラス瓶は「不燃ごみ」として出す。
缶類(アルミ缶、スチール缶)	水洗いをして「資源物」として出す。
乾電池	乾電池専用の袋に入れて「資源物」として出す。
ライター	ガスを使い切ってから「不燃ごみ」として出す。
マークの無いプラスチック製品	「可燃ごみ」として出す。

※乾電池・ライター・医療廃棄物については、絶対に混入しないでください。

今すぐできる

ごみの減量化

— 生ごみ編 —

①まずは、生ごみの発生を抑制しましょう！

食材は、必要な分だけ購入し、できるだけ調理くずを減らすように工夫しましょう。

②ごみを出す前に、水切りを徹底しましょう！

生ごみの80パーセント以上は水分です。水切りの徹底により、生ごみの重量は大幅に減らすことができます。例えば、村内全世帯で毎日、50グラムの水切りをすると、1年間で約260トンのごみの減量化につながります。



問い合わせ

経済環境部ごみゼロ推進課(清掃センター内 ☎282局7289)

リサイクルプラザとうかい

どうぞご利用ください！

開館時間 ● 午前9時～午後4時

休館日 ● 毎週水曜日、祝日、年末年始(12月28日～1月4日) ※水曜日が祝日の場合は、翌日も休館となります。

申し込み・問い合わせ ● リサイクルプラザとうかい(☎282-4439 清掃センター東側)

自転車修理は多目的修理工房で

「リサイクルプラザとうかい」内の多目的修理工房では、自転車を持ち込み、指導員と一緒に、ご自分で修理することが出来ます。修理に必要な工具などは無料で貸し出します。必要となる部品は修理する方がご用意ください(提供できる部品もあります)。詳細はお問い合わせください。



不要な家具・贈答品を回収しています

皆さんのご家庭に、使用可能で、不用になった家具がある場合は、お気軽にご連絡ください。リユース品として使用できるものは戸別回収に伺います。また、未使用の贈答品も回収しています。



会議室をご利用ください

「リサイクルプラザとうかい」には、環境ボランティア団体やリサイクルに関する会議などに利用できる会議室(12人まで利用可能)がありますので、お気軽にご利用ください。ご利用の際は、事前にご連絡ください。



自転車や家具を展示しています

抽選日は次のとおりです。
● 自転車…毎月第4金曜日
● 家具…偶数月の第4金曜日
※どちらも抽選日の前日までに申し込みください。



親子で「紙あき体験」

参加者募集

コースターや名刺、しおりなど、指導者とともに、自分だけのオリジナル和紙を作ってみませんか。

● 日 時 11月7日(土)

午前9時30分～正午

● 場 所 「リサイクルプラザとうかい」リサイクル工房

● 対 象 村内の小学生とその親(先着5組)

● 内 容 紙すき体験

● 費 用 無料

● 申し込み 10月31日(土)までに申し込みください。



地上デジタル放送説明会・受信相談会を開催します



こんな疑問にお答えします！

- ▼地上デジタル放送を見られるようにするにはいくら掛かるの？
- ▼今のアナログテレビをそのまま使って見るにはどうすればいいの？
- ▼アンテナは交換しなければならないの？ など



©日本放送協会2009

地上デジタル放送を受信するために必要な情報を提供するとともに、ご自宅やお住まいの地域で地上デジタル放送を受信するための具体的な質問にお答えします。なお当日は、会場にデジタルテレビ・デジタルチューナー・リモコン・UHFアンテナなどを展示します。実際に触れて体験することができますので、お気軽にご参加ください(参加費無料・事前申し込み不要)。

●日時等

期日	時間(1時間程度)	場所		定員
10月21日(水)	午前10時	村松コミュニティセンター	会議室1・2	各60人
	午後2時	舟石川コミュニティセンター	会議室1・2・3	
10月22日(木)	午前10時	中丸コミュニティセンター	会議室1・2	
	午後2時	真崎コミュニティセンター	会議室A・B	
10月23日(金)	午前10時	石神コミュニティセンター	会議室A・B	
	午後2時	白方コミュニティセンター	会議室A・B	

●問い合わせ デジサボ茨城説明会事務局(総務省茨城県テレビ受信者支援センター内 ☎303-2601 ※午前10時～午後6時) 企画政策部財務課情報政策担当(☎282-1711 内線1381)

東海中央・駅西第二地区の 区画整理地内の保留地を公売します



●公売地

【東海中央土地区画整理事業地内】

街区符号	面積	価格
13街区符号6	259㎡	14,374,500円(55,500円/㎡)
14街区符号2-1	232㎡	13,293,600円(57,300円/㎡)
14街区符号2-2	232㎡	13,293,600円(57,300円/㎡)
14街区符号2-3	232㎡	13,293,600円(57,300円/㎡)
14街区符号2-4	232㎡	13,293,600円(57,300円/㎡)
14街区符号7-2	243㎡	11,955,600円(49,200円/㎡)
14街区符号7-3	246㎡	13,530,000円(55,000円/㎡)
14街区符号7-4	225㎡	13,140,000円(58,400円/㎡)
63街区符号1-1	228㎡	13,155,600円(57,700円/㎡)
63街区符号1-2	206㎡	10,691,400円(51,900円/㎡)
63街区符号1-3	262㎡	14,672,000円(56,000円/㎡)
63街区符号1-4	257㎡	14,392,000円(56,000円/㎡)

【東海駅西第二土地区画整理事業地内】

街区符号	面積	価格
31街区符号21	260㎡	14,768,000円(56,800円/㎡)

●対象 東海中央地区…村内に土地や建物、住所を有する方(既保留地契約者を除く)で、1

世帯につき1人(共有可)。なお、契約者は抽選で決定しますが、抽選参加者がいなかった場合は村外の方も購入できます。駅西第二地区(31街区符号21)…村内・外を問わず、随意契約(先着順)により購入できます。

- 抽選日時 10月26日(月) 午前10時
- 場 所 役場行政棟2階(205会議室)
- 申し込み・問い合わせ 10月13日(火) から23日(金)まで(土・日曜日を除く)の午前8時30分～午後5時15分に、建設水道部区画整理課備え付けの申込書に必要事項を記入の上①本籍地発行の身分証明書②申込者本人の住民票抄本③前年度の納税証明書④その他必要書類——を添えて、建設水道部区画整理課管理担当(☎282-1711 内線1212)へ申し込みください。



こんにちは！ MED 国立東海病院



インフルエンザ

インフルエンザの種類

インフルエンザは“かぜ症候群”の一つですが、世界的に流行すること、次々に型を変えて新しいインフルエンザウイルスができること、症状が重いことなどから、普通の風邪とは区別して扱われています。

人がインフルエンザにかかる原因となるウイルスには、A型、B型、C型があります。A型インフルエンザでは、これまでにH1N1型(スペイン風邪、Aソ連型、今回の新型インフルエンザ)、H2N2型(アジア風邪)、H3N2型(香港風邪)が流行しています。また、人への感染・流行が懸念されている鳥インフルエンザも同じA型で、H5N1型です。

インフルエンザウイルスの特徴

- その① 感染してから症状が出るまでに1～3日(新型インフルエンザは7日)かかる。
- その② 症状は、突然の発熱・寒気・鼻づまり・のどの痛み・咳などで、普通の風邪より高熱になり、だるさが著しい。
- その③ 症状が出てから約1週間と解熱後約3日間は、他の人に感染させる可能性を持つ。

予防方法



人ごみに出ない

病原体であるウイルスを寄せ付けないようにしましょう。



外出後は手を洗う

接触による感染を防ぐためには、手を洗うことが効果的です。



マスクをする

かかっている人がマスクをする方が効果があります。



栄養と休養を取る

体力を付け、抵抗力を高めて、感染しにくくしましょう。



こまめに除菌

ドアノブなど手の触れる部分をアルコールや雑巾でふきましょ。

予防接種について

予防接種は、感染を完全に予防することはできませんが、重症化を防ぐことができます。高齢者・小児・妊婦・慢性の病気を持つ方は接種することをお勧めします。季節性インフルエンザワクチンは数に限りがありますので、早めに受けてください。また、新型インフルエンザワクチンについては、政府の具体的な方針が決まり次第対応していきます。

予防接種Q & A

■インフルエンザ予防接種は何回受ければいいの？

3歳未満の小児は、おおむね1週間から4週間の間隔をおいて2回接種します。13歳以上64歳未満の方は、1回の接種でも免疫力を十分に得られると考えられています。65歳以上の方については、1回の接種が推奨されています。

■卵アレルギーのある人はインフルエンザの予防接種を受けても大丈夫？

インフルエンザワクチンは、製造過程で発育鶏卵を使っています。近年は高度に精製されていますが、ごくわずかながら鶏卵由来成分がワクチンの中に残り、まれにアレルギー反応が起こることがあります。卵アレルギーのある方などは、接種を受ける前にかかりつけの医師とよく相談してください。

問い合わせ●国立東海病院(☎282-2188)、福祉部保健年金課地域医療推進担当(☎287-0899)

生垣設置の補助・緑化木の配布のご案内

●生垣設置補助制度●

■対象 ①村内の住居・事務所等②新たに生垣を設置する、もしくは既存のブロック塀等を撤去して生垣を設置する③設置場所が幅員4m以上の公衆用道路に面し、植栽する部分の長さが2m以上④樹木の高さが0.9m以上、延長1m当たり2本以上植える⑤生垣を構成している土台(地面)の高さが、宅地の地盤または道路面から0.5m以下⑥10年以上保全する——を満たす場合 ※必ず設置前に申請してください。

●緑化木配布事業●

■対象 ①緑化団体等(村内で緑化活動を行う団体または個人)で、村内の公共施設等に植栽する ※公共施設の管理者の承諾が必要です。また、植栽後の維持管理が前提となります。②新築記念③結婚記念④誕生記念——のいずれかに該当する方

■配布時期 ①は随時、②～④は10月・3月 ※配布する時期によって樹種は異なります。

■問い合わせ 建設水道部都市政策課緑化推進担当(☎282-1711 内線1244)

■ヘアリーベッチとは■

土壌に窒素を固定する緑肥として利用されるマメ科の1年草で、雑草抑制力が強く、全国の遊休農地で利用され始めています。



■栽培方法■一度耕起した後、ばらまきし、軽く覆土することで発芽率が向上します。春先に急速に成長しては場全面を覆います。初夏にかけて紫色の花が咲き、最高気温が30℃になると一斉に枯れて敷き藁状になります。秋に軽く耕起することで、落ち種が発芽し、繰り返し栽培が可能です。

■特徴■夏季は昼間の地温上昇を2～5℃抑え、冬季は夜間の低温を緩和する傾向にあります。また、降雨後の土壤水分を保持します。草丈が低く地面を覆うように広がることから、農地の環境保全にも効果があります。

■対象経費 種子購入量は、10アール当たり4キログラム以下、全体で20キログラム以下を限度とします。

■申し込み・問い合わせ 10月30日(金)まで(土・日曜日、祝日を除く)に、所定の申込書に必要事項を記入・押印の上、購入時の領収書または領収書の写しを添付し、経済環境部経済課農業振興担当(☎282局1711 内線1435)へ申し込みください。

休耕を考えてヘアリーベッチの種子購入費を補助します

村では、遊休農地化の抑制を図るため、雑草の抑制効果がある緑肥作物、ヘアリーベッチの作付けを実施した方に対し、種子購入費を補助します。休耕農地の保全のためにもぜひご利用ください。

■対象者 村内在住で自作地の畑(陸田・畑作奨励補助の申請地を除く)に作付けをされる方

■申し込み・問い合わせ 10月30日(金)まで(土・日曜日、祝日を除く)に、所定の申込書に必要事項を記入・押印の上、購入時の領収書または領収書の写しを添付し、経済環境部経済課農業振興担当(☎282局1711 内線1435)へ申し込みください。

社会福祉法人東海村社会福祉協議会(☎282局2804)、総務部自治推進課村民相談室(☎282局1711 内線1276)

問い合わせ

毎週金曜日の午前10時から午後2時まで、総合福祉センター「絆」(心配ごと相談所)で相談を受けています。相談日時などの詳細は、毎月25日発行の「広報とうかい(お知らせ版)」をご覧ください。

定例行政相談

東海村 行政相談員



おおうちひであき 大内英昭さん



すずきあさみ 鈴木朝美さん

「道路案内の標識を分かりやすくしてほしい」「郵便ポストを設置してほしい」「公共施設をバリアフリー化してほしい」など、生活の中で困っていることや望んでいることはありませんか。村では、2人の行政相談員が「心配ごと相談」の一環として、毎週、定例相談を実施していますので、お気軽にご相談ください。相談は無料、秘密は厳守されます。

10月19日(月)～25日(日)は「秋の行政相談週間」です。生活の困りごとはありませんか？

たまにはお休みも必要です

おかげさまで、農業支援センターには、多くの方が訪れています。祝日と月曜日を除き、土曜日も日曜日もオープンしていることもあり、農業に関するさまざまな相談が連日寄せられています。

特に、家庭菜園での野菜栽培についての相談が大きなウエイトを占めています。病害虫については、農業の適正使用や土づくりの重要性を説明していますが、皆さんから寄せられた数多くの相談で感じたのは、熱心さのあまり、土壌に過剰な負担をかけているのではないかとということ

です。同じ場所で作物を栽培し続けると連作障害という現象が発生します。症状としては、根にコブができて養分を十分に吸収できなくなったり、土の中に病害虫が発生したりするなど、健康な作物が育ちにくい環境になってしまいます。この連作障害が発生するメカニズムは十分に解明されていないのが現状ですので、技術的な対処方法は確立されていません。対策としては作付けを休んだり、毎年場所を変えて栽培したりする方法が有効かと思えます。あるいは、思い切って別な作物を植えてみたり、花やハーブを植えてみることもよいかもしれません。これらの植物には、病害虫を防ぐ効果を持つものもあります。マメ科の植物なら窒素成分の増加も期待できます。畑や人も、たまにはゆっくりと休息することが必要です。気軽に野菜の栽培を楽しみたいものですね。

▼問い合わせ 東海村農業支援センター(東海ファーマーズマーケット)にじのなか内 ☎287局7867)

なごみチャンネル

なごみ・総合支援センターの活動をシリーズで紹介する「なごみチャンネル」。今回は、「介護予防と口の健康」についてです。

口腔ケアで介護予防!

野生動物の世界では、歯を失うことは「死」を意味するといわれるほど深刻です。

幸い、人間は入れ歯などで補うことができですが、歯や口の健康を保ち、豊かな食生活を送れることは、健康長寿の大きな秘訣です。そのため口腔ケアは「介護予防の入り口」と言えるほど、大切な取り組みなのです。

なごみでは、介護予防の普及・啓発と「口の健康」の大切さを学んでもらうため、次のような活動をしています。

介護予防事業

口腔機能向上教室「元氣マウス」

生活機能評価の結果、口腔機能の低下が認められた方を対象に、全4回シリーズの教室を開催しています。歯科衛生士の指導の下、歯磨きや義歯の手入れ、食事をおいしく食べるための「健口体操」など、実技やゲームを取り入れ、楽しみながら口の健康について学びます。参加後は「おせき」が無くなった「食事がおいしく食べられるようになった」など効果の音が聞かれます。

介護予防と健口体操の出前教室

介護予防の取り組みを身近に幅広く知ってもらうため、地域に出向いて教室を開催しています。今年度は、各地区で行われる「ふれあい型食事会」の会場(全23か所)を回り、参加者や協力員の皆さんにお話しています。

その他、サークルや団体などで出前教室を希望される場合には、随時相談に応じますので、ぜひお気軽に、なごみまでご連絡ください。



出前教室の様子

「介護予防はじめての一步 お口から」
(初代いもジイ)



▼問い合わせ 東海村地域包括支援センター(なごみ・総合支援センター)内 ☎287局2516)

国民年金「カラ期間」は だまりありませんか



カラ期間とは、年金額には反映されませんが、老齢基礎年金などの受給資格期間には含まれる期間のことです。このカラ期間と年金の加入期間を合わせた期間が25年以上あれば、老齢基礎年金の資格期間を満たしたことになります。主なカラ期間は①昭和36年4月から昭和61年3月までの間で配偶者が厚生年金保険、船員保険、共済組合に加入している間、本人が何の年金にも加入していなかった期間②昭和36年4月以降で20歳から60歳までの間で海外に在住していた期間③昭和36年4月以後の厚生年金保険の脱退手当金を受けた期間(昭和61年4月以後に国民年金の加入期間がある場合に限る)④昭和36年4月以前の厚生年金保険などの被保険者期間で通算対象期間になるもの⑤学生であった昭和36年4月から平成3年3月までの期間——などです。ご自分にこれらのカラ期間があると思われる方は、年金の受給権に結び付くこともありますので、社会保険事務所に相談してください。

ねんきん定期便に関する相談会

- 期 日 10月22日(木)
- 場 所 役場行政棟2階(205会議室)
- 持参するもの ねんきん定期便、年金手帳ほか
※代理の方は委任状が必要となります。
- 相談員 社会保険労務士
- 申し込み・問い合わせ 10月15日(木)の午前8時30分以降に福祉部保健年金課国保年金担当(☎282局1711 内線1133)へ電話で申し込みください(先着10人)。

エッセー頑張る

今どきの
青少年
VOL. 115



弓道を通して学んだこと

東海中学校3年 村松北 かない 金井 ゆうか 優佳

私は中学1年生から弓道を始め、この2年5か月の間、先生や先輩方のご指導の下、毎日練習に励んできました。そのおかげで、練習ではだんだんと的に当たるようになりました。

しかし、練習では調子が良くても、いざ試合となると、いつもの自分の力をなかなか出せません。顧問の先生に「金井は気持ち」と言われ、試合で「集中力」と「平常心を保つこと」が私の課題でした。そのために、練習を県大会だと思ったり、本番にいつもの自分の力を出せるよう取り組んできました。また、「団体は3人で一つ。いかにお互いを信じ、補い合えるかが結果につながる」「自分自身を信じて、一射一射を大切にできました。

県大会当日、そのことを胸に試合に臨みました。2回戦終了後、ライバル校に1本差で負けていましたが、そこから今までの自分たちとは違っていました。「私たちがなら大丈夫。今まで精一杯やってきたから」と団体メンバーと声を掛け合い、平常心を保ち続けることを心掛けました。その結果、県大会で優勝し、全国大会への切符を手に入れることができました。そして、東京の明治神宮で行われた全国大会にも県大会と同じ気持ちで臨み、予選を勝ち抜き、決勝トーナメントに出場し、ベスト16という成績を残すことができました。

私は、中学校の部活でたくさんのもので得ました。仲間と信じ合うことや日々の努力の積み重ねの大切さ、常にたくさんの人々に支えられていることへの感謝の気持ちなどです。ここまでやってこれたのは、熱心に指導してくださった顧問の先生や村の弓道連盟の先生、いつも支えてくれた弓道部のたくさんの方々の仲間たち、応援してくれた家族の存在があったからです。

今まで多くの方々を支えていただきここまでくることができた私ですが、まだまだ未熟で発展途上であることに変わりありません。これからも、弓道を通してさらに人間的にも成長できるように、日々努力を重ねていきたいと思えます。また、高校生になっても弓道が続け、高校でもう一度全国大会の舞台上に立ちたいです。



●白方小学校、48年間を締めくくる運動会

9月19日、3学期から新校舎へ移転する白方小学校(鈴木洋行校長・児童数682人)で運動会が行われました。昭和37年から歴史を刻んできた校舎には、スローガン「ひかる汗 白方パワーで未来へはばたけ! 48年間ありがとう!」が掲げられ、その下で児童たちは力いっぱいグラウンドを駆け回りました。中でも盛り上がりを見せたのは、全学年が列になって大玉を受け渡していく「大玉送り」。ゴールを目指して団結する子どもたちの姿に、会場全体が歓声に包まれました。優勝した赤組の代表・飛田匠真君(6年)は「最後の運動会を最高の思い出にすることができました」とコメント。汗を流して頑張った一人ひとりが、それぞれの思いを胸に、このグラウンドでの最後の運動会を終えました。



●働くことで人とかがわる。そこに生きる楽しみを見つけるチャンスがある

9月17日、東海中学校2年生(187人)を対象に「働くことは(生きがいを求めて)」と題された講演会が同校体育館で行われました。これは、立志の年に行う「職場体験学習」の心構えとして、働くことの意味を知ってもらい、ニート予防にもつなげるために行われたもの。「私は学生時代、どんな職に就いたらいいのかわからなかった」と話す講師の生越達さん(茨城大学教授)は、フリースクールで相談された児童と話すうちにお互いに楽しくなったという経験などを基に「職場体験では、普段周りにいる友達や親、先生とは違う人と話すことができる。そこで自分の支えとなる何かが得られるかもしれない」「働くことで人とかがわり、その中で生きる価値や楽しさに気付くことがある」と働くことの大切さを話してくれました。

●仕事だけでなく、家庭や趣味も大切にするために

9月9日、役場において、男女共同参画講演会「きょうから始める『自分流』仕事と家庭のバランス術—家族・女性の視点から考える、ワーク・ライフ・バランス—」が開催されました。結婚・出産後も働きたい女性が増える中、仕事と家庭のバランスに悩みを抱える方も多いはず…。講師の江尻桂子さん(茨城キリスト教大学准教授)は、「自分に合ったバランスを取るためには、趣味や子どもとの時間など、まず“自分が譲れないものは何か”を考えることが大切。そして、それを実現するために、自身の問題点やその解決策等を見出し、今日から具体的に行動することです」と話します。一度冷静に自己分析をすること—参加者たちは、前向きに考え、行動に移すきっかけをつかんだようです。



STATION GALLERY

- 開館時間 午前10時～午後7時
- 場 所 JR東海駅(駅舎2階)
- 問い合わせ 東海ステーションギャラリー
(☎287-3680)

「自信」へ一僕の世界一

10月11日(日)～17日(土)
(最終日は午後3時まで)



小さい頃から絵を描くことが好きな20歳の青年の初めての個展です。何度も体調を崩しながらも描き続ける中で、ありのままを受け入れてくれるアートワークに出会いました。展覧会バージョンの絵本を中心に、イラストや粘土などの作品を展示します。

第12回創造美術会 茨城支部展

10月18日(日)～24日(土)
(最終日は午後3時まで)



創造美術会茨城支部の会員15人による油彩展です。6月に東京都美術館で開催された創造展に出品した大作を中心に、写実・抽象・心象表現など、自由な発想の作品を発表します。

墨游展

10月25日(日)～31日(土)
(最終日は午後3時まで)



気の合う仲間と作品を発表するようになって15年目となりました。公募展では見られない、それぞれが創意工夫してできた自由な作品が売りの書道展です。ぜひご覧いただき、皆さんの感想をお聞かせください。

文芸とうかい

〔俳句〕

向日葵の輝き増して原爆忌
東海 佐藤 とよ
人並に大根少し蒔いて見る
舟石川 舛井 愛子
鮮やかな花のジユウタン夏紀行
豊白 中島エミ子
秋の夜の満天に冴え銀砂子
南台 渋谷ひろし
抑留の語りつきなき残暑かな
豊白 小林 久男
陽を拝み刈り待つ稲や真崎浦
村松北 小野寺紀夫

〔短歌〕

小粒にて月に似合うは萩の花
外宿 西山 純一
明か明かと稲穂の照りの仏間まで
村松 松本 正勝
山鳩や淋しく聞こゆ秋の夕暮れ
外宿 照沼あや子
空襲の警報遅く逃げまどいし機銃の
砂塵右に左に
舟田繁 助川今朝吉
各陣営天下分け目のマニフェスト
かかげてのぞむ衆院選
照沼 佐藤 昇
会うたびに元気ですねと労わられ喘ぎ
ぎこらえつ家路を急ぐ
村松 高橋 正弘

この夏のまつ赤なトマト桃太郎収穫
終りまだ茎青し
外宿 小林美代子

河鹿鳴く沢の流れのにぎりなく祭り
がえりの灯映ゆる
内宿 村上 文江
涼しいと思うこの朝流れ落つ滝のご
とくに白秋の咲く
白方中央 根本 怜子
秋立ちぬ涼しき夏も過ぎ去りて稲穂
みのりて秋深みゆく
外宿 高槌 すみ
五尺ほどに大きく育ちし葉鶏頭赤む
らさきの色の鮮やぐ
船場 舛井庫之助

山畑で草取り居ればカマキリ奴ノコ
ギリ両手我を威嚇す
南台 根本内俊男

ひたすらに逝く夏惜しむ立秋か残暑
きびしき秋のはじまり
緑ヶ丘 佐藤 正
小さき腹窓におしあて雨蛙虫を狙つ
てしばし動かず
須和間 柴山 靖子
夜暗き庭に出で立ち選挙戦天の加護
をば静かに祈る
舟石川 小川志つ江
〔川柳〕
禁煙を二十回したと威張る人
白方中央 関口 満

10月の納付

納期限	平成21年11月2日(月)
納付種別	村県民税第3期分 国民健康保険税第4期分 介護保険料第4期分 後期高齢者医療保険料第4期分

人口と世帯数

平成21年9月1日現在			
			前月比
世帯数	14,029	世帯	+17
総人口	36,898	人	+30
男	18,568	人	+18
女	18,330	人	+12

お知らせ・ピックアップ

いんぽお めーしょん

役場の
電話番号 ☎ 282-1711(代表)

外国人の皆さん、日本語で主張しませんか

東海村国際交流協会では、「東海村文化祭2009」活動の一環として、外国人の方が日本語で自分の意見や考えを主張する機会を設けます。「われこそは!」という方は、奮って申し込みにください。

- 日時 10月31日(土) 午後1時～3時
- 場所 中央公民館
- 対象 日本語以外の言語を母国語とする外国人の方
- テーマ 自由(発表は日本語のみ) ※例…日本に来て感じたこと/私の国の紹介/私の主張など(5分以内)
- 申し込み・問合せ 10月15日(木)までに①住所②氏名③連絡先④生まれた国⑤育った国⑥スピーチのタイトルと概要——を日本語または英語で記入の上、東海村国際交流協会事務局(東海村姉妹都市交流会館内 ☎282-0535)へ直接お持ちになるか、ファクシミリ(282-0539)または電子メール(tsch@ice.hidecnet.ne.jp)で申し込みください。なお、申込者多数の場合は抽選となります。



Looking for foreign speakers in Japanese!

Tokai-mura International Association is looking for people of foreign nationalities who would like to express their feeling and thought by giving a short speech in Japanese during Tokai-mura Cultural Festival.

- DATE AND TIME 13:00 ~ 15:00 October 31, 2009 (Saturday)
- PLACE Central community center
- ELIGIBILITY FOR APPLICATION Foreign nationals whose first language is other than Japanese
- SUBJECT Free(must be presented in Japanese) ※Example ...What I feel about Japan / About my country / What I want to say about XXXXX
- DURATION OF A SPEECH shorter than 5 minutes
- APPLICATION AND QUESTION Please directly submit, fax, or e-mail the following information to the Bureau of Tokai-mura International Center (Tokai-mura Sister City's Hall PHONE 282-0535 FAX 282-0539 E-mail tsch@ice.hidecnet.ne.jp) either in Japanese or English by October 15 (Thursday). 1) Your name 2) Your address 3) Contact information(phone no., cell phone no., e-mail address, or fax no.) 4) Country you were born 5) Country you were brought up. Please be noted that selection will be made when there are a large number of applications. We hope to hear your frank and honest voice!

アイダホフォールズ市訪問団のホストファミリーを募集します

11月6日(金)から14日(土)まで、村の国際親善姉妹都市・アメリカ合衆国アイダホ州アイダホフォールズ市から17人(大人)の訪問団が来村します。そこで、11月7日(土)から8日(日)の1泊2日間、訪問団員を受け入れてくれるホストファミリー(11家庭)を募集します。

滞在期間中は、さまざまな催しが予定されています(右表参照)。皆さんもこの機会に外国人の方々と交流してみませんか?

- 申し込み・問合せ 10月16日(金)までに、総務部自治推進課ハーモニー・交流担当(内線1342)へ申し込みください。

11月	主な予定
6日(金)	東海村着
7日(土)	ファミリーデー(ホームステイ)
8日(日)	ファミリーデー、歓迎会
9日(月)	東京
10日(火)	村内施設見学、武道・華道・書道体験
11日(水)	村内施設見学
12日(木)	日立市、北茨城市
13日(金)	村内施設見学、送別会
14日(土)	見送式、帰国

※内容は変更になる場合があります。

参加費
無料

「新規高卒者就職面接会」

■日 時 12月3日(木) 午後1時～3時30分
■場 所 ホテルレイクビュー水戸(水戸市宮町1-6-1)

参加を希望する事業所の方へ

■対 象 ハローワーク水戸・笠間・常陸大宮管内に所在し、求人申し込み(予定)をしている事業所(70社)

■申し込み 11月6日(金)までに、各所管のハローワークへ申し込みください。

問 合 せ

ハローワーク水戸(☎231-6244)、ハローワーク笠間(☎0296-72-0252)、ハローワーク常陸大宮(☎0295-52-3185)

10月の休日診療日程

診療時間 午前9時30分～正午、午後1時～2時

期日	病医院名	電話番号
11日(日)	村立東海病院	282-2188
12日(月)	茨城東病院	282-1151
18日(日)	武藤小児クリニック	282-7722
25日(日)	村立東海病院	282-2188

救急医療機関をお探しのときは ▶毎日…24時間対応

茨城県救急医療情報コントロールセンター(☎241-4199)

茨城子ども救急電話相談 ▶午前9時～午後5時…日曜日・祝日・年末年始(12月29日～1月3日) ▶午後6時30分～11時30分…毎日

ブッシュ回線の固定電話、携帯電話から (☎ #8000)

すべての電話から (☎ 254-9900)

催し物(講演会ほか)

「点字ボランティア養成講座」

初めて点字を学ぶ方向けの基本的な点字・点訳について学ぶ講座です。受講後には、広報紙等の点訳を行うボランティア活動もできます。

■期 日 11月12日から平成22年3月25日までの木曜日(月2回程度・全10回)

■時 間 午前10時30分～正午

■場 所 合同庁舎1号館1階(ボランティア市民活動センター活動室)

■対 象 村内在住・在勤・在学の方(先着20人)

■参加費 500円/人(テキスト代)

■申し込み・問合せ 10月13日(火)から10月30日(金)までに、ボランティア市民活動センター「えがお」(☎283-4538)へ申し込みください。

募集

東海自由空間vol.8～あなたも私も出演者～ [with PIANO♪ピアノの音色とともに♪]

グランドピアノの演奏・伴奏に楽器演奏や歌唱、パフォーマンスなどを加えた、あなたの“with PIANO”なステージを、披露してみませんか?

●公演日時 平成22年1月31日(日) 午後1時30分開演 ※発表時間は1団体10分以内

●場 所 東海文化センター(ホール)

●対 象 村内や周辺地域にて活動する個人・団体で、公演当日と前日のリハーサルに参加できる方(15組程度) ※出演条件の詳細は、お問い合わせください。

●参加費 無料

●申し込み・問合せ 所定の「出演申込書」に必要事項を記入の上、10月31日(土)(必着)までに、財団法人東海村文化・スポーツ振興財団(東海文化センター内 ☎282-8511)へ申し込みください。なお、応募が5組以下の場合は開催中止、応募多数の場合は抽選となります。

参加費
無料

「育児講座」を開催します

うたとお話の会

■日 時 11月5日(木) 午前10時～11時

■対 象 2歳から就学前の幼児とその保護者(先着30組)

■内 容 歌、手遊び、パネルシアターなど

■講 師 さいとう清子さん

ベビーサイン

■日 時 12月3日(木) 午前10時～11時

■対 象 0・1歳児とその保護者(先着20組)

■内 容 赤ちゃんとお手々で話そう!

■講 師 内田美穂さん

■その他 筆記用具、メモ帳をお持ちください。

場 所

サンフラワーこどもの森保育園

申し込み・問合せ

10月19日(月)以降の(土・日曜日、祝日を除く)午前10時から午後3時に、サンフラワーこどもの森保育園(☎287-7111)へ申し込みください。

第21回「東海村レディースダブルス大会」

■期 日 11月5日(木) 予備日…11月6日(金) ※テニスボール(2個)をお持ちください。

■場 所 村テニスコート

■対 象 村内在住・在勤・在学の方、東海村テニス連盟登録者、またはペアのうち1人がいずれかの要件を満たす方

■参加費 連盟登録者…500円/人、連盟未登録者…750円/人

■申し込み 村テニスコートクラブハウスに備え付けの申込書に必要事項を記入の上、10月21日(水)までに申し込みください。

■問合せ 越塚ゆかりさん(☎287-0924)

献血にご協力ください!

- 期 日 10月14日(水)
- 時 間 ①午前9時30分～正午 ②午後1時～4時
- 場 所 役場行政棟東側玄関ロビー
- 持参するもの ①自動車運転免許証など身元を証するもの(過去の献血で、本人確認が済んでいない方のみ) ②献血手帳・献血カード(お持ちの方のみ)
- 問 合 せ 保健センター(☎282-2797)



「オータムフェスティバル2009」

- 日 時 10月18日(日) 午前9時30分～午後5時(荒天中止)
- 場 所 国営ひたち海浜公園・水のステージ周辺(ひたちなか市馬渡)
- 内 容 物産展、地域郷土芸能、ひたちなか地区PRコーナー、ひたちなか地区見学バスツアーほか
- 入 園 料 無料(駐車料金等は別途)
- 問 合 せ 茨城県土木部都市局公園街路課(☎301-4650)、茨城県企画部ひたちなか整備課(☎301-2778) ※当日…財団法人公園緑地管理財団ひたち公園管理センター(☎265-9001)

となりのまちから イベントガイド

笠間市 ● 第20回匠のまつり

笠間焼の大陶芸市のほか、茨城県産のみかげ石を使った彫刻等も販売します。

- ◆期 間 10月31日(土)～11月3日(火)
- ◆場 所 笠間芸術の森公園・イベント広場(笠間市笠間)
- ◆そ の 他 公園駐車場は有料です。
- ◆問 合 せ 笠間市商工観光課(☎0296-77-1101)

茨城町 ● 2009いばらきまつり

- ◆期 日 11月1日(日)
- ◆時 間 午前9時30分～午後4時
- ◆場 所 茨城町総合福祉センター「ゆうゆう館」前駐車場(東茨城郡茨城町小堤1037-1)
- ◆内 容 キャラクターショー、ビンゴゲーム大会、模擬上棟式、売店・抽選会コーナーほか
- ◆問 合 せ 2009いばらきまつり実行委員会事務局(茨城町地域産業課内 ☎240-7118)

北茨城市 ● 第21回雨情の里港まつり

- ◆日 時 11月1日(日) 午前9時～
- ◆場 所 大津漁港(北茨城市大津町)
- ◆内 容 アンコウのつるし切り、あんこう鍋の販売、サンマのつかみ取りなど、各種イベントが催されます。
- ◆問 合 せ 北茨城市商工会(☎0293-42-2511)

【お詫び】「広報とうかい」(9月10日号)の裏表紙「ちびっこ美術館」のコーナー(文中)に名前の誤りがありました。お詫びして訂正いたします。

- ▶誤…「沙良ちゃん」
- ▶正…「紗良ちゃん」

参加費
無料

「ダイエット教室」を開催します

“健康的にやせたい!” “家族の健康のために知識を得たい!” という方、ぜひご参加ください。

■日 程 等

日時	内容
11月10日(火) 10:00～11:30	効果的な内臓脂肪の減らし方についての講話
11月20日(金) 14:00～15:00	日常生活に取り入れられる運動の体験
11月25日(水) 10:00～11:30	内臓脂肪を減らす食事についての講話

- 場 所 総合福祉センター「絆」
- 対 象 ご自分または家族(なるべくBMI25以上)のためのダイエットに関心がある、村内在住の65歳までの方
- そ の 他 保育サービス(無料)があります。
- 申 込 み・問 合 せ 10月23日(金)までに、保健センター(☎282-2797)へ申し込みください。

エトセトラ

費用
無料

乳がん・子宮がん施設検診のお知らせ

村では、今年1月の「健康診査調査票」での申し込みに基づき、乳がん・子宮がん検診を医療機関で受診できる「施設検診」を実施しています。

- 期 間 12月11日(金)まで
- 実施機関 村指定の医療機関
- 対 象 乳がん検診…村内在住で30歳以上の女性
子宮がん検診…村内在住で20歳以上の女性
- そ の 他 女性特有のがん検診無料クーポン券交付対象の方で、村の検診を申し込みでない方は、クーポン券をご利用になり、受診してください。
- 申 込 み・問 合 せ 転入等により申し込みをしていない方で、施設検診を希望する方は、12月4日(金)までに、保健センター(☎282-2797)へ申し込みください。



おぞら保育園 ● 端場泰成くん

恐竜博物館

遠足での様子を描いてくれた泰成くん(6歳)。一緒に恐竜を見ているのは、いつも仲良しのお友達だそうです。「ティラノサウルスを描いたよ。一番好きな恐竜はね…アロサウルス!」と、絵のようにここにこと話してくれました。

ぼくの夢 Dream-108 わたしの夢



夢は…。 “声優”

照沼小学校6年 ● 會澤茉莉

私の夢は、アニメの声優になることです。

アニメを見ていると、時々「この声聞いたことあるな」と思います。最後に字幕の名前を見ると、私の知っている声優さんがいくつものキャラクターの声を出していることが分かります。女の人のなのに男の子の声をしたり、キャラクターに合った声になっていたり、声だけで上手にその役を演じていたりして、とてもすごいなと思い、私もそんな声優さんになりたいと思いました。

そのためには、まず大きな声が出せるように毎日お風呂上がりに腹筋トレーニングをやります。それに加えて、毎日発声練習をしたり、口を大きく開けてはっきりと話す練習をしたりしていきたいです。そのほかにも、いろいろと努力をしないといけないことがたくさんあると思いますが、自分の夢に向かって頑張っていきたいと思います。

わが家の子育て奮戦記

表紙の「ひと」 境原久実子



転勤族のわが家が東海村に住むのは、今回が2回目。初めての東海村生活は、長男・将基が2歳の時で、1年間過ぎた後、さいたま市へ移りました。そして、次男・紘基も生まれ、とてもにぎやかになったわが家は、縁あって再び東海村へ戻り、もうすぐ2年がたとうとしています。

現在7歳の将基はとても活発で、何事にも物おしせず挑戦していくタイプ。引越しのたびに、親の心配をよそに、新しい土地にすぐ溶け込んで、たくさん友達をつくってきます。少々、「猪突猛進型」の元氣過ぎる言動に困ってしまうこともありますが、弟の面倒をよく見てくれて、私を助けてくれる頼りになる優しいお兄ちゃんです。

2歳の紘基は頑固な甘えん坊。自分の思い通りにならないと、泣いてわめいて抵抗して家族を困らせます。最近では、言葉数も増え、おむつも外れた「お兄ちゃん」です。悪いことをした後は、「ごめんささい」も言えるようになりました。そろそろ「ママ抱っこ」を卒業してほしい気もしますが…それも寂しいと思う今日このごろです。

とにかく元氣な男の子2人の子育ては、朝から「やめなさい!」「静かにしなさい!」で始まりです。でも、そんな声にめげるような子どもたちではありません。どちらかが泣くまで、ふざけたりけんかしたり…。最近では弟・紘基が対等にけんかをするようになり、将基が泣かされることもしばしばです。

そんな2人を時には怒りすぎてしまい落ち込んだり、悩んだりすること…。こんな人間形成の未熟な私を支えてくれるのは、ママ友の存在です(もちろん夫も支えてくれますが)。共に泣き、笑って、悩んでくれる友人たち。夫婦ともに実家が遠くてなかなか頼れない分、多くの友人たちが支えてくれていきます。この場を借りてみんなに感謝。ありがとう!

自然豊かで、驚くほどに子育て環境の整った東海村での子育てを、これからも楽しみなからできたらいいなと思っています。そして、怒られながらも日々成長していく子どもたちに負けないよう、私も成長していこうと思います。